



清 央 小 だ よ り

令和5年度 第23号
2024.1.30 文責 室田和宏

教 育 目 標	「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」
	・自ら学び工夫する子ども (考える)
	・元気でがんばる子ども (鍛える)
	・礼儀正しく思いやりのある子ども (思いやる)

“夢いっぱい友だちいっぱい清央小！”の1月

インフルエンザやコロナの感染も油断できない状況が続いていますが、子どもたちは基本的な感染症対策に気を付けながらも、充実した学校生活をスタートしました。写真左から「不審者対応避難訓練」訓練を通して、より安全な避難をするための新たな課題が見えてきます。中は2年生が生活科で凧を挙げている様子。自然とたっぷり触れ合い、学びの多い活動です。右は6年生の家庭科、ダスキンさんを招いての出前講座。たかがお掃除、されどお掃除…、なかなか奥が深いものです。



次に紹介するのは、地域の皆様のご協力です。左は3年生社会科の「昔の道具体験」七輪でマシュマロを焼いて食べてみました。中は、朝の読み聞かせ。雪の朝でも駆けつけてくださります。右の写真は、夢クラブの活動で生けた生花が、玄関を彩っています。地域協議会の地域活動推進委員さんが、定期的に学校の玄関に花を飾って、情操教育の一端を担ってくださっています。



↓ 学級自慢集会



↓ 1年生幼保小交流活動



↓ 3、4年長縄大会



働き方改革とカリキュラムマネジメント<シリーズ⑥清原学>

「児童生徒が郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにする。」ことを目的として、本市では令和3年度から「宇都宮学」を実施しています。そこで本校では総合的な学習の時間を「夢チャレンジタイム・清原学」として、地域に根付いたカリキュラムの開発に取り組んでいます。土曜授業の際にも、地域のことを探求した学習の成果が発表されましたが、マネジメントアンケートの結果を見ても、『児童は宇都宮の良さを知っている』の肯定割合が児童 85.3%→88.6%，教職員 85.2%→95.0%，保護者 59.3%→74.2%と、大きな向上が見られました。LRT（ライトライン）の開業も、清原地区のすばらしさに気づく良いきっかけになったことでしょう。シリーズ①でもふれたように、地域や保護者の強力なバックアップが望める本校の強みを生かし、学校だけでは実施できないような行事とのタイアップを図ることで、さらに“清原地域への親しみを基盤とした、郷土への愛情や誇り”を育てていきたいと考えています。